

すい臓がん

早期診断プロジェクト実施中！

先手の検査で、
元気をパス！

すい臓がんは、早期診断が大切です。
横浜市では、危険因子を持つ人が、
自覚症状がなくても 病院で
検査を受けることができる
プロジェクトを実施しています。

©JRFU

お問合せ

横浜市医療局がん・疾病対策課

横浜市中区本町6-50-10

045-671-2721

すい臓がんは

早期診断が大切です。

発見や診断が難しいすい臓がんは、進行してから見つかることが多く、
全てのがんの中でも生存率が低いとされています。

しかし大きさ1cm以下の早い段階で診断できれば、比較的治療成績がよいと言われています。

そこで横浜市では、特に危険因子を持つと診断された人には **自覚症状がなくても** 病院を紹介、
精密検査を受けられるプロジェクトを実施しています。早めの受診で、元気な明日へつなげましょう。

危険因子をチェック！

- すい臓がんにかかった血縁者がいる人
- 糖尿病と診断された・増悪した人
- 慢性すい炎と診断された人
- すいのう胞がある人
- 大量飲酒習慣のある人
- 喫煙習慣のある人
- BMI 30以上の肥満、
または過去に肥満であった人



©JRFU

すい臓がん早期診断プロジェクト アンバサダー
ラグビー日本代表

さいとう なおと
齋藤 直人 選手

横浜市出身、父親の影響で3歳からラグビーを始め、高校時代に地元横浜の強豪校・桐蔭学園で主将としてチームを花園準優勝に導いた。早稲田大学時代にも大学選手権で優勝、日本代表候補になり、その後プロ入りし2021年から日本代表として活躍。今後の日本代表を担う一人として注目されている。

コメント

「勇気を出してプロジェクトにトライ!!」

すい臓がん早期診断プロジェクト 検査の流れ

まずは身近な医療機関にご相談ください。

診察・検査で、すい臓がんの危険因子があると診断された人には

プロジェクト実施病院を紹介、精密検査などで早期診断、治療につなげます。



身近な医療機関

紹介

地域連携

経過観察



プロジェクト実施病院

- ・済生会横浜市東部病院
- ・横浜労災病院
- ・横浜医療センター
- ・横浜市立大学附属病院
- ・横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ・昭和大学藤が丘病院